

# かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

# さわやか



特別号 I 令和7年9月12日発行

校長 塚田 秀和

## □ 学力調査結果等のお知らせ

3年生を対象に4月16日に石川県基礎学力調査（社会・英語）、17日に全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科）が実施されました。また、1・2年生を対象に、かほく市独自の学力調査が4月10日に行われました。

調査の目的は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導等に役立てることです。今回、本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者・地域の皆様にお知らせします。

なお、各学力調査により測定できるのは学力の特定の部分であり、また学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

## ○学力調査の結果（教科に関する調査）

		国語	社会	数学	理科	英語
1年	国との比較	◎	◎	◎	◎	◎
2年	国との比較	◎	◎	□	◎	□
3年	国との比較	◎		◎	◎	
	県との比較	◎		□	◎	□

※ 表中の記号（◎□△）は、本校の平均正答率を、国や県の平均正答率と比較したものです。

◎：3ポイント以上高い      △：3ポイント以上低い      □：同程度である

※ 3年生は、全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科）、石川県基礎学力調査（社会・英語）

※ 1・2年生は、かほく市実施の学力調査

## ○学力調査の結果からの考察

学力調査の結果については、3年生の数学、英語において県平均と同等となっていますが、石川県が全国学力調査で上位に位置することを考慮すると、概ね良好な結果と考えています。各教科で分析を行った結果、昨年同様に本校の課題として「複数の資料（条件）を正確に読み取り、処理すること」「教科で用いる言葉の意味を正確に理解すること」の2点が挙げられました。

これらの課題の対策として「授業の中で情報を読み取る場面を設定し、良い点、不足している点を共有したり、さらに良い表現にしたりする活動」を組み込んでいきます。また、「教科で用いる言葉の意味を正確に理解すること」を目的に、昨年から始めた朝学習の時間に実施する5教科の小テストを継続しています。小テストの内容は、どの教科も基本的な内容に留めています。1学期の終業式では、平均点が95点以上の100名を表彰しました。また、英語検定、漢字検定3級以上の生徒をたたえる場を設けています。毎日の地道な努力の大切さを認めることを大切にしています。



1学期終業式での表彰のようす

## ○本校における学力向上の取組

### 〔高中スタイルの授業〕

石川県教育委員会より3年間（今年度が2年目）の研究指定を受けた「令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究」の実現に向けて、全教職員で実践を進めています。

本校では「令和の日本型学校教育」を「予測不可能な時代を生きていく子供たちが、課題解決に迫る学び方を学ぶこと」と捉えています。今月の学校便りに書きましたが、「予測不可能な時代」の中で起こる事象への対応に、答えを一つしか用意してなく（選択肢がなく）、その答えで解決できないとなると怖くなります。だから、それぞれが、それぞれの学び方で「答えを見つける」ことが大切と考えます。

昨年度の研究から「自分で学び方を考えて、学習を進める『高中スタイル』の授業」を構築し、その実践に取り組んでいます。

#### 「高中スタイル」の授業の特徴

- ① 子供が学習の見通しを持つこと      ② 子供に多くの時間を委ねること
- ③ 授業を振り返る場において、子供授業のまとめをつくること
- ④ ICTを用い、自己の学び方について振り返ること



今年度の生徒アンケートは、「高中スタイル」の授業実践について検証するため、質問項目を大きく変更しました。生徒アンケート結果から見られることとして、以下の点が挙げられます。

- 仲間や教師としての関わりを通じて学ぶ姿勢を持ち、協働的な学習が進められている。
- 授業において自律的に学ぶ姿勢が見られる。
- △ 長期的な学習の見通しを持って取り組む力や自己調整力は改善の余地がある。
- △ 授業以外での自主学習や、興味関心を深める活動など「授業外で学びを継続する力」がやや弱い。

### 〔専門家を要請した校内研究の実施〕

「令和の日本型学校教育」の実現に向けて、大学教授等の専門家を招聘した校内研修会を設けています。6月は金沢大学より 福田 晃 氏 を招き「探究活動の学びを教科に生かす」ことについて、8月は金沢工業大学より 田中 孝治 教授 を招き「メタ認知能力のスキルとその評価」について研修を行いました。どちらの研修も専門的見地より理論的側面から話を伺い、教員は1学期の実践を持ち寄り、それぞれの実践から今後に向けての方策を協議しました。

また、各教科において石川県教育委員会から指導者を要請し「高中スタイル」の授業構想との実施、授業後の協議という授業研究を実施しています。（写真右は英語・音楽の授業のようす）



### 〔高松中学校区小中連携協議会〕

8月25日に高松中学校区（大海小、高松小、本校）3校で「子供に委ねる授業」をテーマに小中連携協議会を実施しました。本校と同様に2小学校も授業の中に「学びタイム」という児童が主体的に学習する場を設けています。小中の教員が教科ごとに分かれて、1学期の実践、課題について共有し、校種間のスムーズな接続ができるよう協議しました。



## — お知らせ —

10月31日（金）に合唱コンクール、学習成果発表会、11月「いしかわ教育ウィーク」に合わせて学校公開を実施します。ぜひ、お越しください。